

2026年3月期

(2025年度)

第2四半期

(中間期)

決算概要

RICOH
imagine. change.

2025年11月7日

リコーリース株式会社



1. 2026年3月期 第2四半期 連結業績報告
2. 事業分野別の状況
3. 2023年度～2025年度 中期経営計画のトピックス
4. 2026年3月期 連結業績予想
5. 参考資料

1 . 2026年3月期 第2四半期 連結業績報告



1. 増収減益

営業資産残高の拡大や資産利回りの向上等により、売上高・売上総利益は増加
販管費の増加により営業利益・経常利益は減益となったものの、対計画では想定を上回り順調な推移
中間純利益は、Welfareすずらんののれん等の減損損失計上による影響を概ね吸収

2. 営業資産 12,513億円（前期末比+296億円）

リース&ファイナンス事業、インベストメント事業ともに営業資産を積み上げ

3. 2026年3月期 業績予想は期初予想から変更なし

減損損失が発生したものの中間純利益の進捗率は50%近辺に達し、期初予想据え置き

※当資料において、営業資産は一部を除きリース債権流動化を控除しない残高を記載

※当資料において、「親会社株主に帰属する中間純利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」を、それぞれ「中間純利益」及び「当期純利益」と表記

※当資料において、差引利益は売上高より資金原価を除く売上原価を差し引いた額

- ・ 差引利益の増加により資金原価の増加を打ち返し、売上総利益は増益
- ・ 販管費は事業基盤（人財・IT等）強化に向けた投資等により増加
- ・ 通期予想に対する進捗は中間純利益を除き順調に推移

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期		2026/3期 通期予想	進捗率
		2Q累計実績	伸率		
売上高	1,537	1,708	11.2%	3,200	53.4%
売上総利益	239	255	6.5%	480	53.1%
販売費及び一般管理費	125	143	14.8%	290	49.6%
営業利益	114	111	△2.6%	190	58.5%
経常利益	116	113	△2.0%	192	59.3%
中間純利益	82	62	△24.4%	132	47.4%
前年差					
1株当たり配当金（円）	80.00	90.00	10.00	185.00	—
1株当たり純利益（円）	268.46	203.00	△65.46	428.23	—
配当性向	29.8%	44.3%	14.5%	43.2%	—
ROA（総資産当期純利益率）	1.28%	0.89%	△0.39%	0.93%	—
ROE（自己資本利益率）	7.4%	5.3%	△2.1%	5.6%	—

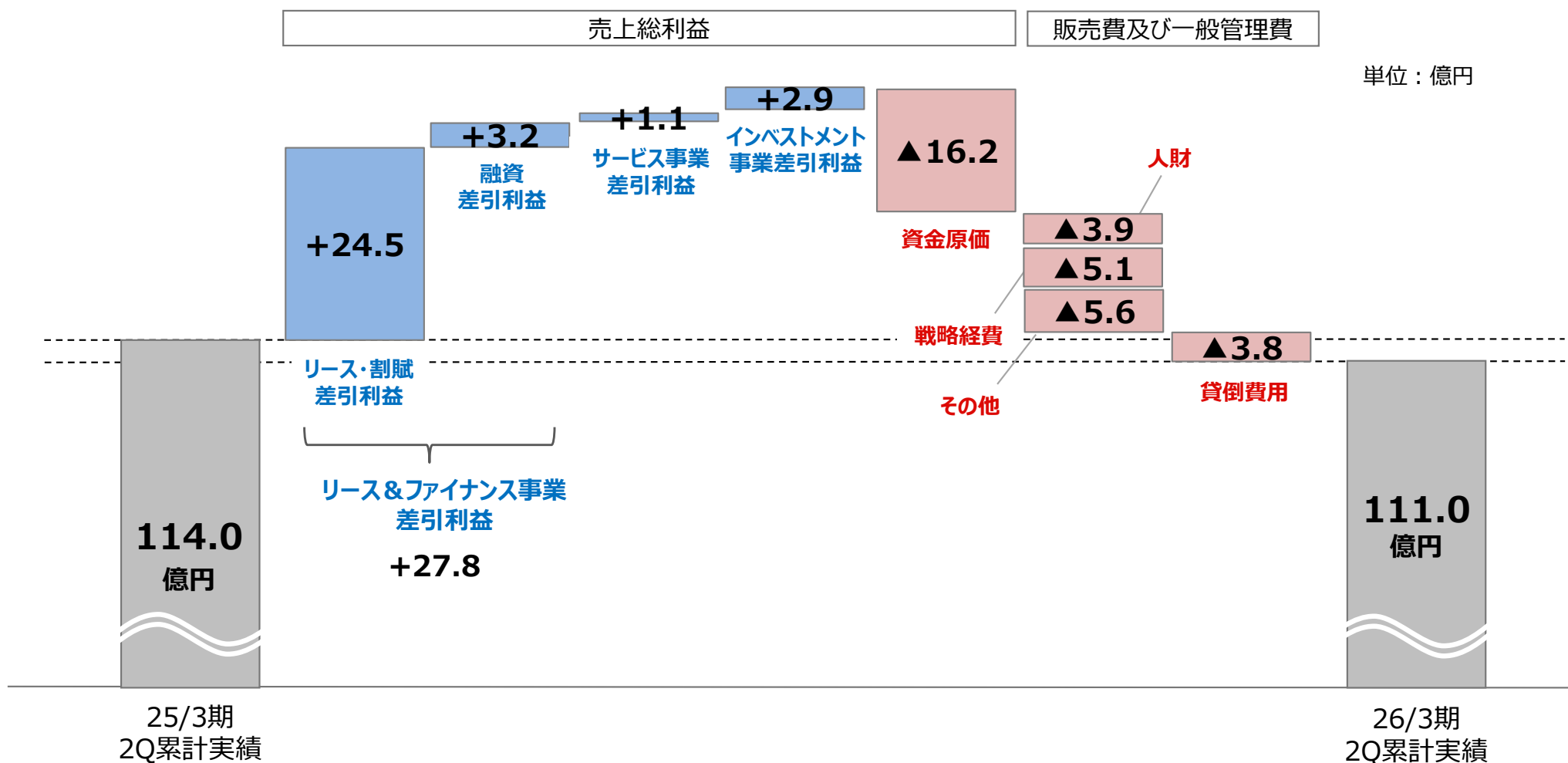
※ROA及びROEの実績は、年換算した数値を記載



営業利益の前年比増減要因

- 営業資産の積み上げや資産利回りの向上、大口債権の早期返済等により差引利益は全セグメントで増加
- 資金原価の増加や販管費の増加により営業利益は減益

但し、前年の貸倒引当金の戻入の反動等による貸倒費用の増加の影響を除くと、微増





連結貸借対照表

- 営業資産の積み上げ等により、資産及び負債が前期末に比べ増加

単位：億円

	2025/3期 期末	2026/3期			2025/3期 期末	2026/3期	
		2Q末	前期末増減			2Q末	前期末増減
現金及び預金	13	34	21	短期有利子負債 ※2	2,090	2,827	737
リース債権及びリース投資資産	5,476	5,715	239	長期有利子負債	8,010	7,801	△209
割賦債権	1,835	1,753	△82	債権流動化債務	95	49	△46
営業貸付金	2,765	2,681	△83	その他負債	1,225	1,199	△26
賃貸資産	1,388	1,624	235	負債 合計	11,421	11,877	455
貸倒引当金 ※1	△68	△67	1	純資産 合計	2,340	2,413	73
その他資産	2,351	2,548	196				
資産 合計	13,762	14,291	528	負債純資産 合計	13,762	14,291	528

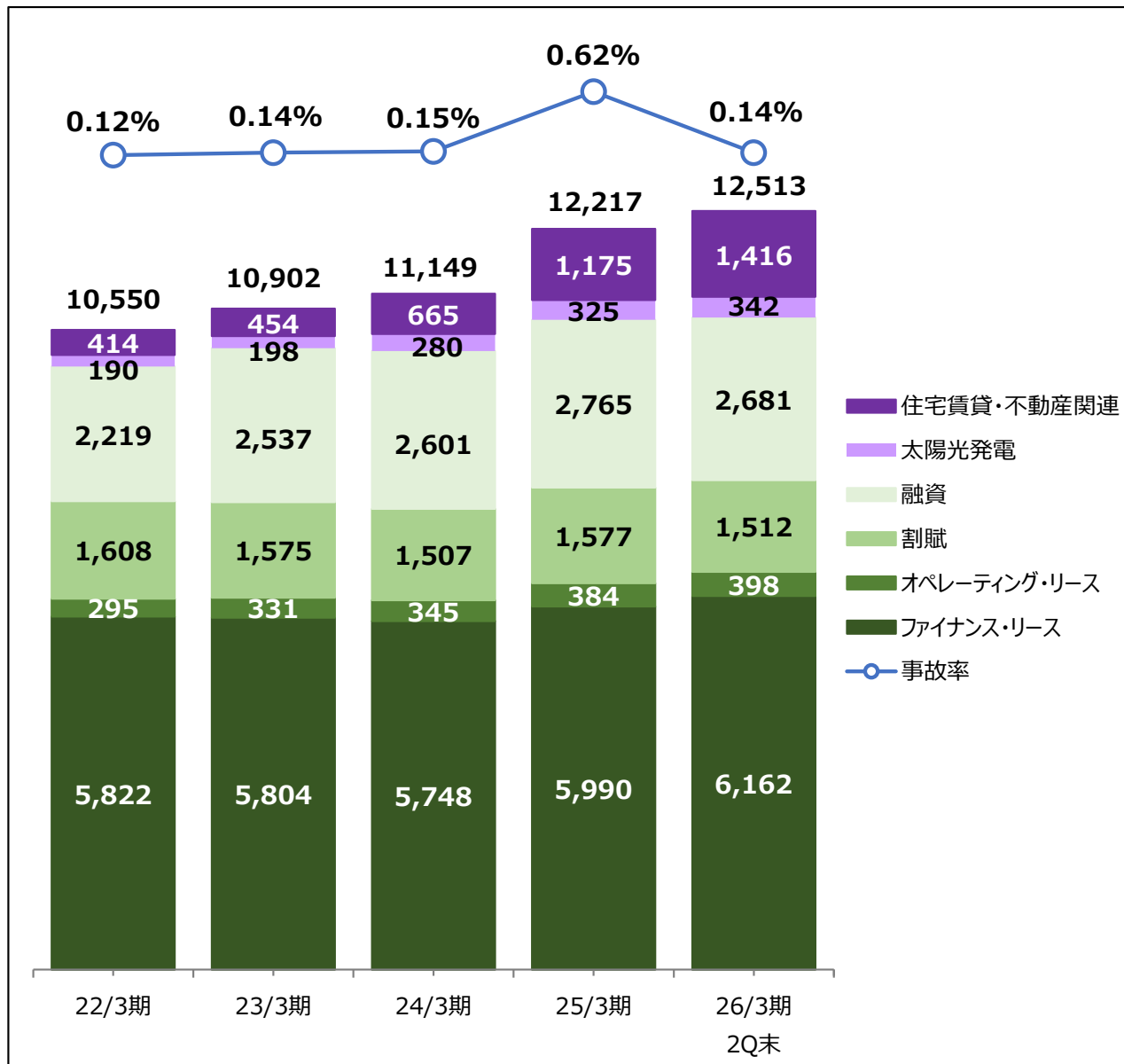
※1 貸倒引当金は、流動資産及び固定資産の合計を記載

※2 1年以内返済予定の長期債務（社債、長期借入金）は、短期有利子負債に含む



営業資産と事故率

単位：億円



- ・ ファイナンス・リース、不動産関連を中心に営業資産が増加
- ・ 事故率は25/3期に特殊要因により大幅上昇したものの、当2Qは低水準で推移

※26/3期2Qリース債権流動化金額：446億円

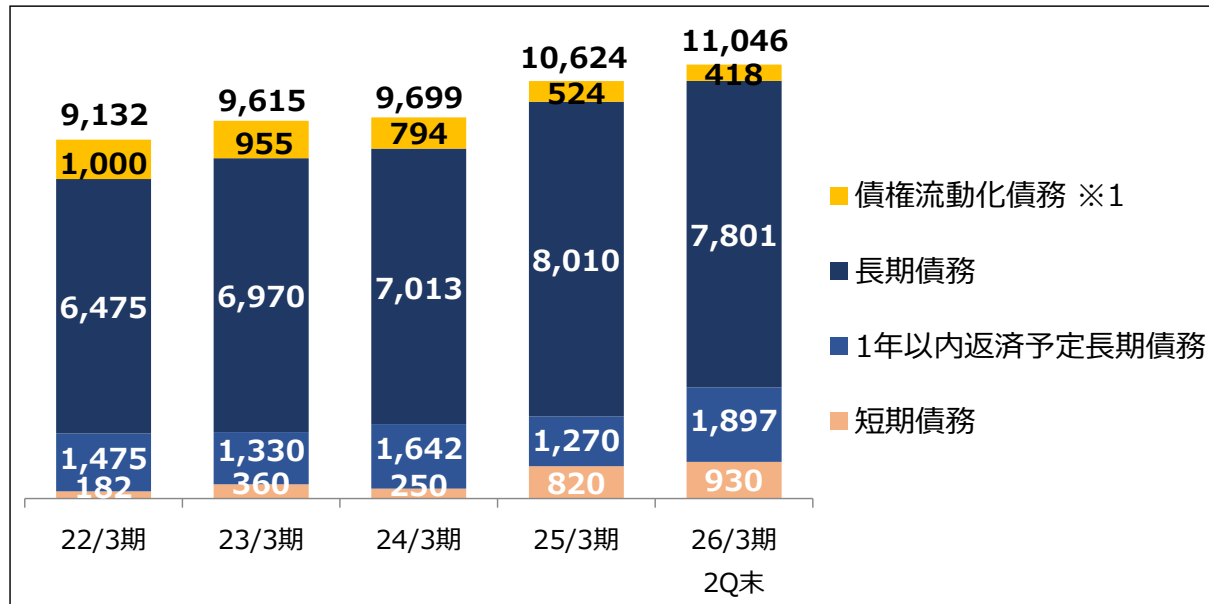
※事故率 = 事故損失額 ÷ 営業資産平均残高
(26/3期2Qは、事故損失額を年換算して事故率を算出)



調達総額と資金原価

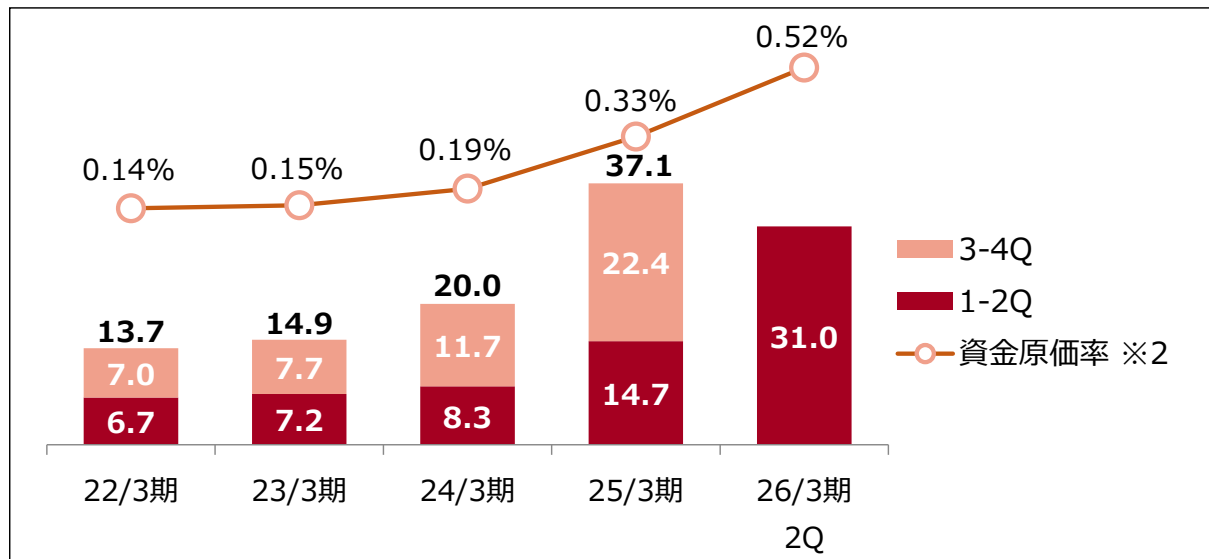
調達総額

単位：億円



資金原価・資金原価率

単位：億円



- ・ 営業資産の増加により有利子負債が増加
- ・ 金利上昇の影響により資金原価が大幅増加し、資金原価率は上昇

※1 債権流動化債務は、オフバランス調達を含む残高を表示
 ※2 資金原価率 = 資金原価 ÷ 営業資産平均残高
 (26/3期2Qは、資金原価を年換算して資金原価率を算出)

2. 事業分野別の状況



事業分野別 業績サマリー

- ・ 営業資産残高の増加、資産利回りの向上等により、差引利益が全分野で増加
- ・ 契約実行高は、オフィス、設備投資、医療・ヘルスケアの各分野が好調だったものの、前年に不動産分野が大幅増加した反動等により、全体では減少

単位：億円

	差引利益			契約実行高		
	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期		2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率		2Q累計実績	伸率
オフィス分野	79	87	10.2%	610	674	10.5%
設備投資分野	48	58	19.0%	554	609	9.8%
医療・ヘルスケア分野	29	30	6.1%	152	168	10.0%
不動産分野	40	45	12.7%	792	543	△31.5%
環境分野	23	26	10.4%	208	100	△51.9%
as a Service分野	13	17	30.8%	87	73	△16.5%
BPO分野	19	20	5.3%	—	—	—
合計	254	286	12.6%	2,407	2,168	△9.9%

※契約実行高：リースは賃貸用資産の取得金額、割賦は割賦債権から割賦未実現利益を控除した金額



オフィス／設備投資分野 実績

オフィス分野

- 資産の増加や資産利回りの向上により、差引利益が増加
- PCやセキュリティ対策でのネットワーク機器等「情報通信機器」の契約実行高が大幅増加

■ 業績

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率
売上高	576	594	3.2%
売上原価	497	507	2.0%
差引利益	79	87	10.2%

■ 契約実行高

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率
リース・割賦	610	674	10.5%
オフィス分野 合計	610	674	10.5%

設備投資分野

- 資産の増加、資産利回りの向上により、増収増益
- 重点分野である車両・建機が好調で契約実行高が増加

■ 業績

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率
売上高	477	530	11.0%
売上原価	429	472	10.1%
差引利益	48	58	19.0%

■ 契約実行高

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率
リース・割賦	542	607	12.0%
融資	11	1	△89.4%
設備投資分野 合計	554	609	9.8%



医療・ヘルスケア／不動産分野 実績

医療・ヘルスケア分野

- 資産の増加、利回り向上の継続により、差引利益が増加
- 契約実行高はリース・割賦が医療用PCの増加等により増加した一方、融資は前年の大幅増加の反動で減少

■ 業績

単位：億円

	2025/3期	2026/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
売上高	136	143	4.7%
売上原価	107	112	4.3%
差引利益	29	30	6.1%

■ 契約実行高

単位：億円

	2025/3期	2026/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
リース・割賦	121	148	21.9%
融資	31	19	△36.7%
医療・ヘルスケア分野 合計	152	168	10.0%

不動産分野

- 信託受益権が資産を伸ばし、売上高、差引利益が増加
- リース・割賦が契約実行高を伸ばしたが、前年好調だった信託受益権の反動等により全体としては減少

■ 業績

単位：億円

	2025/3期	2026/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
売上高	83	100	19.7%
売上原価	43	54	26.2%
差引利益	40	45	12.7%

■ 契約実行高

単位：億円

	2025/3期	2026/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
リース・割賦	11	20	77.4%
融資	322	227	△29.5%
住宅賃貸	5	—	—
不動産関連	452	294	△34.8%
不動産分野 合計	792	543	△31.5%



環境／as a Service分野 実績

環境分野

- 大口債権の早期返済や売電収入の増加等により、増収増益
- 前年の大口案件の反動により、契約実行高が減少

■ 業績

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率
売上高	139	202	45.2%
売上原価	116	176	52.3%
差引利益	23	26	10.4%

■ 契約実行高

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率
リース・割賦	128	36	△71.7%
融資	32	33	5.0%
太陽光発電	40	30	△25.3%
その他	7	—	—
環境分野 合計	208	100	△51.9%

as a Service分野

- これまでの資産の積み上げ等により、増収増益
- 前年の複数大口案件の反動により契約実行高は減少

■ 業績

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率
売上高	84	94	12.6%
売上原価	71	77	9.2%
差引利益	13	17	30.8%

■ 契約実行高

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率
リース・割賦	87	73	△16.5%
as a Service分野 合計	87	73	△16.5%



BPO分野／リース・割賦 契約実行高 実績

BPO分野

- ・ 集金代行・介護ファクタリングともに既存顧客との取引が堅調に推移し、新規顧客との取引も順調に獲得
- ・ 取扱件数及び取扱高が増加し、業績伸長

■ 業績

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率
売上高	38	41	9.9%
売上原価	18	21	14.5%
差引利益	19	20	5.3%

■ 営業実績

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期	
		2Q累計実績	伸率
集金代行 取扱件数（万件）	1,624	1,928	18.7%
介護ファクタリング取扱高	464	492	5.9%

リース・割賦 契約実行高（機種別）

- ・ 情報関連機器や車両・輸送用機器等が好調に推移
- ・ 産業工作機械は、前年の環境分野の大口案件の反動で減少

単位：億円

	2025/3期 2Q累計実績	2026/3期		リース事業協会 （4月-9月累計） リース設備投資額伸率
		2Q累計実績	伸率	
事務用・情報関連機器	753	831	10.4%	4.5%
医療機器	149	162	8.8%	3.8%
産業工作機械	152	68	△55.0%	△0.4%
商業・サービス業用機器	63	73	16.0%	△5.0%
車両・輸送用機器	126	147	16.2%	0.3%
その他	257	277	7.8%	△11.4%
リース・割賦 契約実行高 合計	1,503	1,561	3.9%	0.1%

3. 2023年度～2025年度 中期経営計画のトピックス

Welfareすずらん

■「MayLily徳重」「MayLily一宮ちあき」オープン

- ✓ 2025年に住宅型有料老人ホーム2施設をオープン
見守りロボットやVRリハビリ機器などDX設備を充実させ、
サービス品質向上とスタッフの負担軽減を実現
- ✓ 「徳重」は女性専用、「一宮ちあき」は災害対応型等
各施設固有の特徴を設定

■今後の展開

- ✓ 年間2棟を目標に、各々に明確なコンセプトを持った新規施設の開発を進め、介護業界の課題解決に取り組んでいく



DXによるクリニックの省人化

■省人化を実現する医療DXシステム

- ✓ 医療機関のコスト抑制への貢献等を目的として、受付の省人化にフォーカスしたシステムの商品化および運用を開始
- ✓ 予約・来院・受付・会計まで1つのQRコードで完結することが特徴

■今後の展開

- ✓ 更なるブラッシュアップを図りながら、さまざまな医療機関へのシステム提供を目指す

受診の流れ





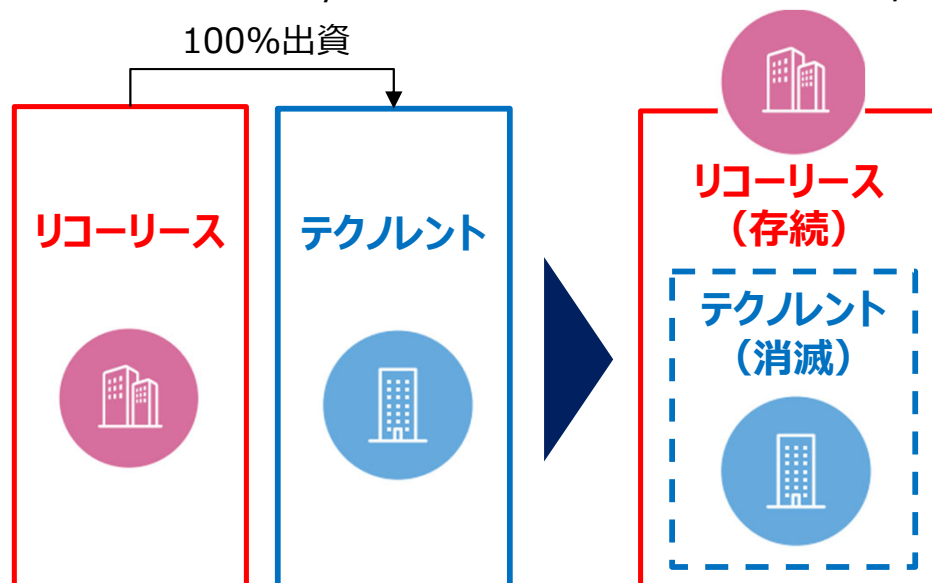
トピックス：as a Service分野、BPO分野

as a Service分野 テクニクの吸収合併

■概要

合併前（～2026/3）

合併後（2026/4～）



■目的

- ✓ 経営資源を集約することによる効率化
- ✓ 営業活動を一体化することによる成長加速

BPO分野 スクールコレクト

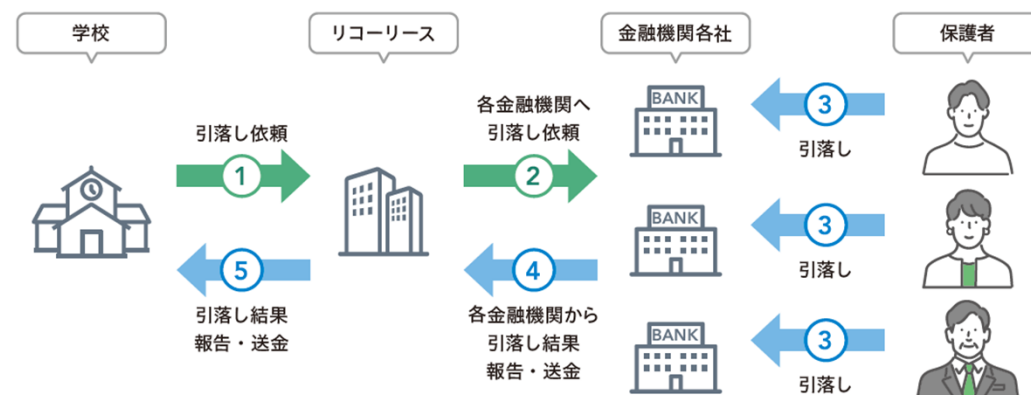
■教職員の労働環境への取り組み

- ✓ 新たな成長戦略の一つとして、学校徴収金の集金代行サービス「スクールコレクト」を推進
- ✓ 給食費の回収等の業務の負担を解消し、学校における働き方改革や保護者の利便性向上に寄与

■今後の展開

- ✓ 25年度上期までの累計導入実績は853校
- ✓ 25年度下期は新たに355校での導入を目指す

スクールコレクト



4. 2026年3月期 連結業績予想

(2025年5月2日発表の期初予想から変更無し)

- 増収を見込むも、資金原価と販管費の増加により売上総利益以下の各利益は減益
- 1株当たり年間配当金は5円増配の185円。上場以来31期連続増配※を見込む

単位：億円

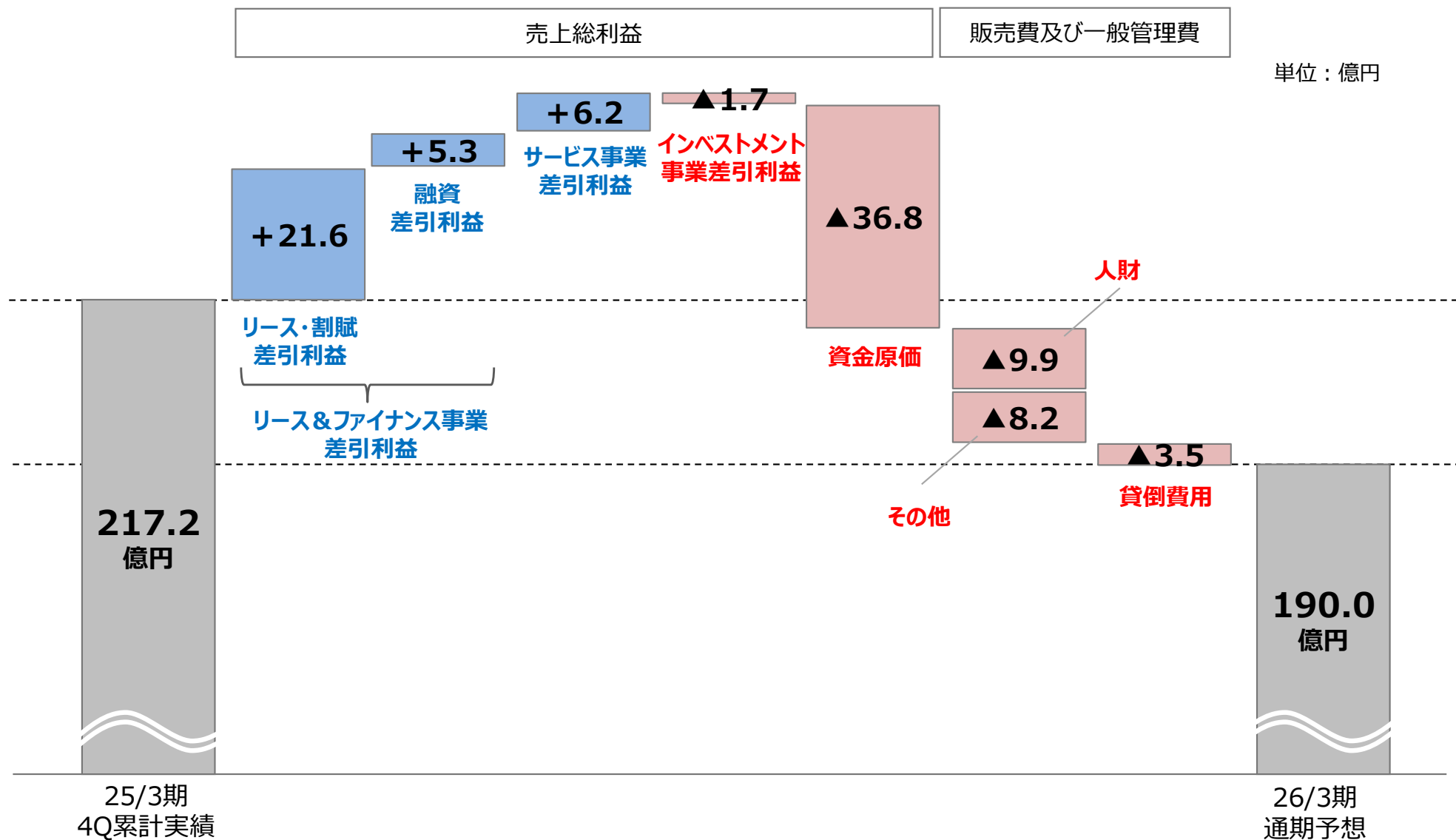
	2025/3期		2026/3期	
	通期実績	伸率	通期予想	伸率
売上高	3,121	1.2%	3,200	2.5%
売上総利益	485	6.5%	480	△1.1%
販売費及び一般管理費	268	9.2%	290	8.1%
営業利益	217	3.4%	190	△12.6%
経常利益	220	2.3%	192	△12.8%
当期純利益	156	38.8%	132	△15.7%
		前年差		前年差
1株当たり配当金（円）	180.00	30.00	185.00	5.00
1株当たり純利益（円）	507.99	142.10	428.23	△79.76
配当性向	35.4%	△5.6%	43.2%	7.8%
ROA（総資産当期純利益率）	1.19%	0.29%	0.93%	△0.26%
ROE（自己資本利益率）	6.9%	1.7%	5.6%	△1.3%

※連続増配は、2000年3月期の株式分割による実質増配を含む



営業利益の前年比増減要因 予想

- 資産残高の増加や資産利回りの向上により、差引利益は増加
- 市場金利の上昇により資金原価は大幅増加、人財投資を中心として販売費及び一般管理費も増加





営業資産の内訳 予想

- 営業資産は782億円の増加を予想、リース&ファイナンス事業は契約実行高の拡大を継続
- インベストメント事業は、不動産価格の高止まりを鑑み投資抑制、資産の増加が鈍化

単位：億円

	2025/3期		2026/3期	
	期末	前期末増減	期末予想	前期末増減
ファイナンス・リース	5,990	241	6,130	139
オペレーティング・リース	384	38	400	15
リース計	6,374	280	6,530	155
割賦	1,577	69	1,610	32
リース・割賦 合計	7,951	349	8,140	188
融資	2,765	163	3,200	434
リース&ファイナンス事業	10,716	512	11,340	623
インベストメント事業	1,500	554	1,660	159
営業資産 合計	12,217	1,067	13,000	782



株主還元方針

■ 資本活用の方針

成長投資

- リスクアセットの積み上げ
- 中長期的にROE向上に資するインオーガニック投資
- 事業基盤強化に向けたIT投資による無形固定資産の積み上げ

財務の健全性確保

- リスクアセットに対する必要資本量の配賦
- 有利な資金調達を実現する格付の取得・維持

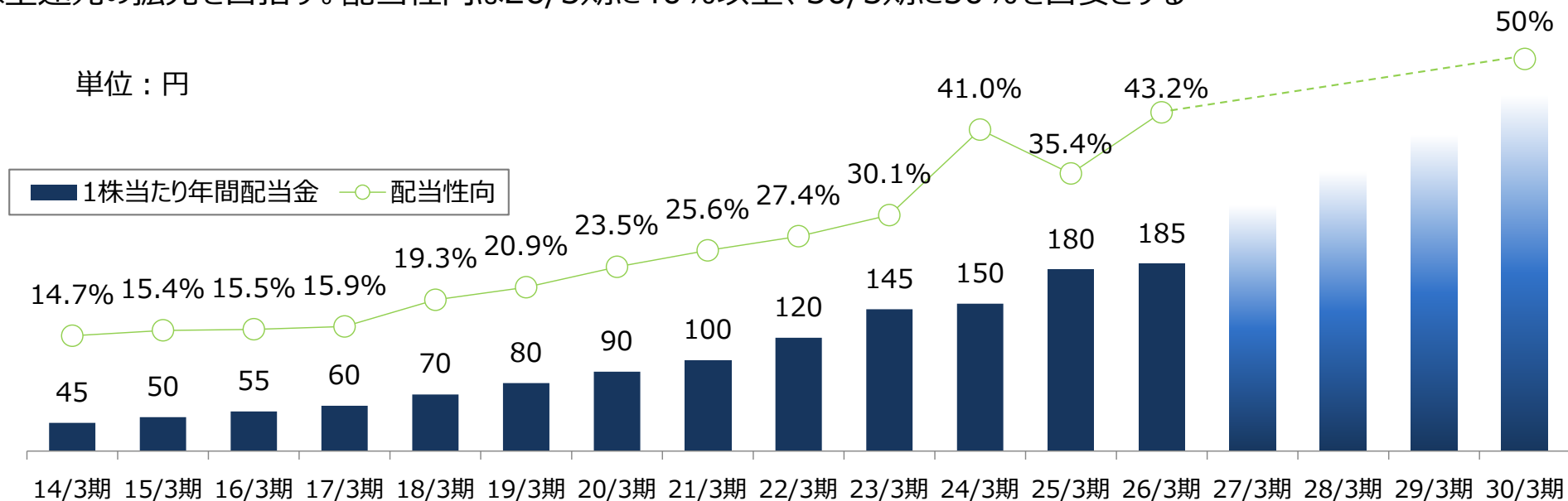
株主還元

- 累進性を意識し配当を中心とした株主還元

■ 株主還元基本方針

配当の累進性と業界トップクラスの還元水準を意識し、持続的な成長と適正な資本構成及び財務体質の強化を図り、株主還元の拡充を目指す。配当性向は26/3期に40%以上、30/3期に50%を目安とする

単位：円



5. 參考資料



連結損益計算書

単位：億円

	2025/3期		2026/3期		2026/3期	
	2Q累計実績	伸率	2Q累計実績	伸率	通期予想	伸率
売上高	1,537	△1.0%	1,708	11.2%	3,200	2.5%
売上原価	1,298	△1.9%	1,453	12.0%	2,720	3.2%
資金原価	14	76.1%	31	110.6%	74	99.4%
売上総利益	239	3.7%	255	6.5%	480	△1.1%
販売費及び一般管理費	125	7.8%	143	14.8%	290	8.1%
人件費	63	7.1%	67	6.1%	139	7.7%
貸倒引当金繰入額	3	8.8%	7	121.8%	15	31.2%
営業利益	114	△0.5%	111	△2.6%	190	△12.6%
経常利益	116	△0.1%	113	△2.0%	192	△12.8%
中間純利益	82	54.0%	62	△24.4%	132	△15.7%



セグメント別 業績サマリー

■ 売上高及び損益

単位：億円

	2025/3期		2026/3期	
	2Q累計実績	伸率	2Q累計実績	伸率
売上高	1,537	△1.0%	1,708	11.2%
リース&ファイナンス事業	1,440	△2.8%	1,597	10.9%
サービス事業	46	6.0%	50	8.5%
インベストメント事業	50	79.6%	61	20.4%
セグメント利益	126	0.4%	126	0.0%
リース&ファイナンス事業	104	△8.1%	107	2.6%
サービス事業	7	10.9%	5	△28.0%
インベストメント事業	14	158.5%	14	△4.4%

■ 営業資産

単位：億円

	2025/3期		2026/3期	
	期末	増減	2Q末	前期末増減
営業資産	12,217	1,067	12,513	296
リース&ファイナンス事業	10,716	512	10,755	38
インベストメント事業	1,500	554	1,758	258



四半期業績推移

単位：億円

	2023/3期					2024/3期					2025/3期					2026/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	累計
売上高	763	726	756	742	2,988	775	777	796	733	3,083	756	780	763	820	3,121	824	884	1,708
差引利益	118	107	108	112	447	115	123	118	117	475	119	134	132	136	522	136	149	286
オフィス	35	34	34	40	145	38	36	38	37	151	39	39	39	41	160	44	43	87
設備投資	25	23	24	20	94	23	23	23	24	96	23	24	26	31	106	26	31	58
医療・ヘルスケア	10	11	10	14	46	14	14	15	14	58	14	14	14	14	59	15	15	30
不動産	14	16	15	15	62	17	17	16	19	70	18	22	22	24	87	22	23	45
環境	12	7	7	5	33	6	16	9	5	38	6	16	8	6	38	9	16	26
as a Service	13	6	6	6	32	6	6	6	6	26	6	6	10	7	31	7	9	17
BPO	8	7	8	8	32	7	8	8	8	34	9	10	9	9	38	10	10	20
資金原価	3	3	3	3	14	4	4	4	7	20	6	8	10	12	37	14	16	31
売上総利益	115	103	104	109	432	111	119	114	110	455	112	126	122	124	485	121	133	255
販売費及び一般管理費	47	50	49	72	220	58	57	58	70	245	61	63	64	78	268	72	71	143
営業利益	68	53	54	36	212	52	61	55	39	210	51	63	57	45	217	49	61	111
経常利益	69	54	55	36	215	52	63	56	42	215	52	63	57	46	220	50	63	113
純利益	47	37	38	25	148	9	44	28	30	112	35	47	41	32	156	34	27	62



中期経営計画 進捗（財務目標）

- ・ 契約実行高が順調に拡大し、差引利益及び営業資産残高は中計目標を達成見込み
- ・ 一方、想定以上に早期に金利が上昇したことで資金原価が膨らみ、各利益は中計目標未達を予想

単位：億円

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期		
	実績	実績	実績	予想	中計目標値	中計目標値 差異
差引利益	447	475	522	554	530	24
資金原価	14	20	37	74	30	44
売上総利益	432	455	485	480	500	△20
販売費及び一般管理費	220	245	268	290	265	25
営業利益	212	210	217	190	235	△45
当期純利益	148	112	156	132	160	△28
ROA	1.23%	0.91%	1.19%	0.93%	1.1%以上	△0.17%
ROE	7.2%	5.2%	6.9%	5.6%	7%以上	△1.4%
営業資産残高	10,902	11,149	12,217	13,000	12,400	600
配当性向	30.1%	41.0%	35.4%	43.2%	40%以上	3.2%



中期経営計画 進捗（非財務目標）

- 4つのマテリアリティの実現に向け、社会へのインパクトが強い項目を非財務目標として設定
- 非財務目標達成に向けた取り組みと事業戦略を結びつけ、財務目標の達成を目指していく

		2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	
マテリアリティ	項目	実績	実績	実績	中期経営計画 目標値	
非財務目標	クリーンな地球環境をつくる	環境分野への累計資金投下額	2,720億円※	3,138億円	3,477億円	4,000億円
	豊かな暮らしをつくる	集金代行稼働サービス数	16,682サービス	17,861サービス	18,987サービス	20,000サービス
	持続可能な経済の好循環をつくる	重点3分野契約実行高(建機・車両・農業)	320億円	303億円	377億円	450億円
	ハピネスな会社、そして社会をつくる	エンゲージメントスコア(年間平均)	72点	71点	71点	75点
		女性管理職比率	23.0%	21.8%	23.8%	25%
一人当たり教育費		39,730円	40,016円	58,176円	55,000円	

※環境関連融資を精査し、2,703億円から2,720億円に遡及修正

本資料の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。

＜お問い合わせ先＞

リコーリース株式会社

経営企画部

Tel : 050-1702-4203
Email : ir@r-lease.co.jp
URL : <https://www.r-lease.co.jp>